アジャイルソフトウェア開発における概念モデルの 可能性

産業技術大学院大学 中鉢欣秀

2015-11-29

① アジャイル開発のための要求分析

② アジャイルに適した要求分析方法論の構築

③ まとめ

アジャイル開発に適した要求分析手法

- アジャイル型のソフトウエア開発が注目されている
 - 代表的なものとして「Scrum」がある
- スタートアップ型のビジネスのためのシステム開発に適している とされる
 - ●「リーンスタートアップ」の考え方と組み合わせられることが多い
- 近年、Scrum を大規模な業務システム開発にも適用しようとされ る試みが始まっている
 - 大規模開発をアジャイルで行う場合の要求分析の方法は?

アジャイル開発における要求分析

Scrum と要求分析

• Scrum は「Product Backlog」を作ることから始まる

Product Back Log とは

- PO(Product Owner)が作成した「ユーザストーリ」のリスト
- アイテムには優先順位をつける
- 常に開発の状況と道筋を反映し続ける

スタートアップのためのビジネス分析

リーンキャンバス

- ●「30分で作る事業計画書」
 - 詳細な事業計画書を作るのではなく、1 枚の紙にまとめる

エレベータピッチ

- アメリカ・シリコンバレーの起業家が発祥のプレゼンテーション 方法
- 30 秒・約 250 字で相手に自社やサービス、自分自身のことを相手 に説明する方法

リーンキャンバスの例

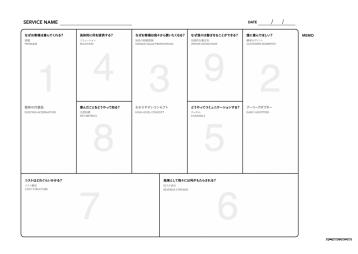


Figure: Template of lean canvas

エレベータピッチの例

7

エレベーターピッチの例

[自分の持ち物を売ることを]したい [主として若い女性]向けの、 [メルカリ]というプロダクトは、 [フリマアプリ]です。



これは[持ち物の出品と販売をする]ことができ、 [ヤフオク]とは違って、 [モバイルアプリだけで簡単に出品をする機能]が 備わっています。

Figure: Example of elevetor pitch

研究課題

- リーンキャンバスやエレベータピッチからだけで Product Back Log が作れるのだろうか?
- 基幹業務システムなどの大規模開発には不向きなのではないか?

■ アジャイル開発のための要求分析

2 アジャイルに適した要求分析方法論の構築

③ まとめ

アジャイル開発のための既存の分析手法

- アジャイルモデリング
 - アジャイルモデリング (AM) ホームページ
- DAD (Disciplined Agile Delivery)
 - Disciplined Agile 2.0 | A Process Decision Framework for Enterprise I.T.

SBVA 法との組み合わせ

SBVA(Scenario Based Visual Analysis)法

- LW な要求分析手法として提案
 - 中鉢欣秀, 小林孝弘, 松澤芳昭, 大岩元: シナリオの図解化によるユースケースモデリング, 電子情報通信学会論文誌 D, Vol.J88-D1, No.4, pp.813-828, 2005/04/01
 - 中鉢欣秀: 専門職大学院におけるモデリング教育と SBVA, 要求分析 WS in 奄美大島, 2008
 - Think IT 第1回:シナリオに基づく設計と SBVA 法とは?(1/3)

研究の障壁

- 大量のシナリオを図解化する分析用ツールの開発
- 実際の業務に基づいた事例が必要

SBVA 法研究の現状

分析ツールの作成

- 2009 年にツールの仕様のみ検討
 - (別資料参照)

企業との共同研究

- 2015 年になり、大手産業機械メーカ(大阪)の子会社が興味 を示す
 - (別資料参照)
- 今後、共同研究に発展する可能性がある
 - 親会社の基幹システムの再構築を目指すプロジェクト

① アジャイル開発のための要求分析

② アジャイルに適した要求分析方法論の構築

③ まとめ

まとめ

- アジャイル型のソフトウエア開発工程のインプットとして、リーンキャンバス等のスタートアップ開発向けの手法が取り入れられている
- ② 企業の基幹業務システム等の大規模開発により適した要求分析の 手法については研究の余地がある
- 従来より提案してきた SBVA 法をアジャイル開発にも使えるように、企業との共同研究を通して改良・発展していきたい
- もともと業務手順のシナリオをベースに分析をする SBVA 法は、 ユーザストーリからなる Product Back Log を作成する考え方と相 性が良いのではないか?
- 今後の研究成果については、随時、報告するので皆様のアドバイスを頂きたい

① アジャイル開発のための要求分析

② アジャイルに適した要求分析方法論の構築

- ③ まとめ
- 4 参考文献

- Running Lean 一実践リーンスタートアップ
- 「リーンキャンバス」を使って事業計画書を 30 分で作る方法 | Stay Creative!
- 分かりやすくプレゼンをするコツ「エレベーターピッチ」とは?-NAVER まとめ
- 新規製品開発のための UX デザインワークショップ | ATOMOS DESIGN